

## 今月の PICK UP



『二枚腰のすすめ 鷲田清一の人生案内』

鷲田 清一/著 世界思想社 1597

ウィズ・コロナという言葉と共に、日々の生活に常に憂いと緊張が伴い、新たな悩みの一つに感じている人もいると思います。気忙しい年末に紹介したい本は『二枚腰のすすめ』です。著者は、2013年から6年間、読売新聞の「人生案内」の回答者を務めていました。この本は、長年の回答から71編を選び、書籍化されたものです。

哲学者の著者がなぜ人の悩みの相談を引き受けようと思ったのか。人は悩みを抱えると、一つの方向からしか物事が見えなくなってしまうがちで、そうなってしまうと前には進めなくなる。ところが考え方を変えてみると、案外解決できることも多いと著者は述べています。悩みに押しつぶされずに持ちこたえる指南書として読んでみたい一冊です。



『世界を彩る色と文化』 桜井 輝子/著 SBクリエイティブ 757.サ



クリスマスといえば、赤と緑をイメージする人が多いかと思います。本書は、そういった物事や場所などのイメージを色で表すと何になるか、色の取り合わせを提案している本です。「空飛ぶ絨毯に乗って、世界一周をするように」をコンセプトにしており、夕暮れのエッフェル塔やウユニ塩湖、日本の春など多彩なテーマを取り扱っています。デザインやイラストの参考になるのはもちろん、ただ眺めるだけでも楽しいものとなっています。

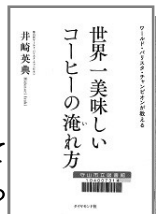
司書の  
おすすめ



『ワールド・バリスタ・チャンピオンが教える 世界一美味しいコーヒーの淹(い)れ方』

井崎 英典/著 ダイヤモンド社 596.71

何かと慌ただしいこの時期、温かいコーヒーでほっと一息、という方も多いのではないのでしょうか。バリスタである著者が、豆の選び方から淹れ方まで、写真と図をまじえて分かりやすく解説してくれています。初心者の方ももちろん、毎日飲む方もこの機会にプロの技を習得してみてもはいかがでしょうか？「自分好みの最高の一杯」が飲めたら最高ですね。



『身近にあふれる微生物が3時間でわかる本』

左巻 健男/編著 明日香出版社 465サ

私たちの体の中には100兆個とも言われる微生物が共存しています。重さにして1.5キログラム。美肌からむし歯やニキビや腸内フローラまで微生物は大活躍。そして、おいしい食品をつくる微生物。肥料から下水処理まで身の回りに溢れている目に見えない微生物の世界のあれこれを、中学レベルの科学知識で読める一冊です。

『チョコレート・ガール探偵譚』 吉田 篤弘/著 平凡社 778ヨ

古びた映画のチラシに載っていた「チョコレート・ガール」という言葉に惹かれ、著者は探索を行うことにします。ところが当の映画のフィルムは消失、主演女優は失踪。果たして幻のチョコレート・ガールは見つかるのか否か？あちこち脱線や寄り道をしながら、見つからないことを面白がった2年間の記録。小説のようにも読める遠回りの探偵譚を、著者と一緒にお楽しみください。

